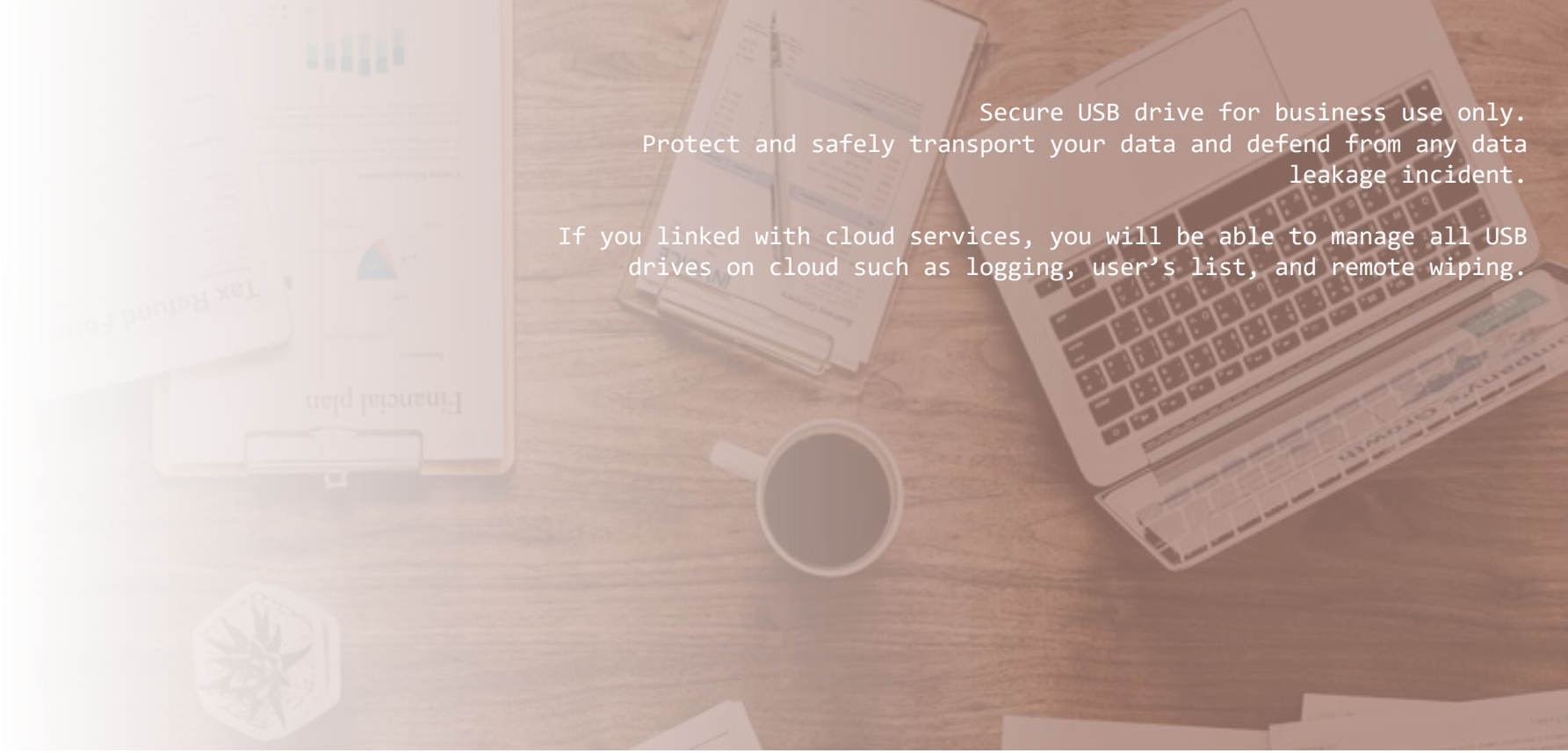
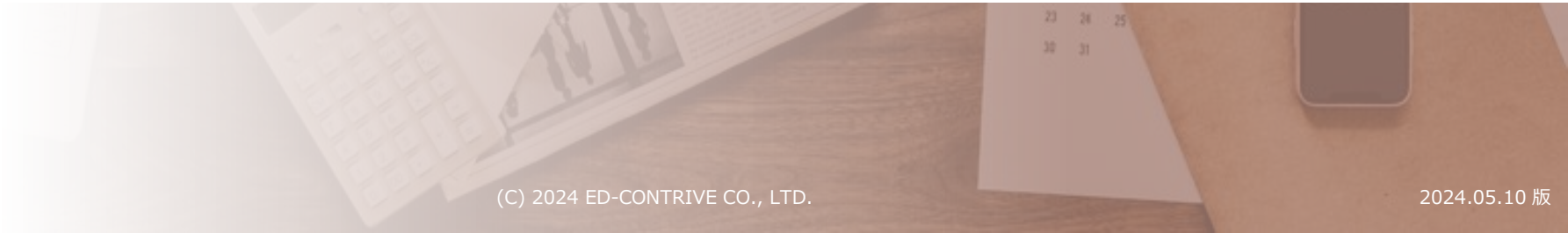


Secure USB drive for business use only.
Protect and safely transport your data and defend from any data leakage incident.

If you linked with cloud services, you will be able to manage all USB drives on cloud such as logging, user’s list, and remote wiping.

TRAVENTY Series



2024.05.10 版

製品・サービス概要

「TRAVENTY シリーズ」は、「セキュリティ」×「ユーザビリティ」をコンセプトに、ビジネスシーンで安全・安心にご利用いただける法人専用セキュリティUSBメモリです。

USBメモリ利用におけるあらゆるセキュリティリスクを回避するために必要な機能・サービスをご利用いただけます。

TRAVENTY シリーズは、

「USBメモリ本体」＋「管理用ソフトウェア」＋「クラウドサービス」

の構成をご用意しています。

お客様のUSBメモリのセキュリティニーズに合わせて、柔軟にカスタマイズしていただくことができます。安全性と効率性を確保したUSBメモリの利用をサポートします。

ラインナップ

「TRAVENTY シリーズ」は、それぞれ「管理用ソフトウェア」に対応しており、弊社クラウドサービスと連携することができます。

ウイルス検知機能 非搭載モデル

TRAVENTY® 4

ウイルス検知機能(TMUSB） 搭載モデル

Traventy® 3

Trend Micro USB Security™

＊ TMUSBは「2028年12月31日」にサポートを終了します。

基本機能 – USBメモリ本体

基本機能 – データ保護機能

パスワード保護機能

USBメモリを使用する際は、あらかじめ設定したパスワードによる認証が必要です。認証前の状態で、USBメモリへのデータ保存および保存データへのアクセスは一切行えません。

初期パスワードポリシーは「最小桁数4桁(最大16桁)」のみですが、別売の管理用ソフトウェアによるパスワードポリシーのカスタマイズに対応しています。

ハードウェア強制暗号化機能(AES 256bit)

パスワード認証後、データ領域に保存されたファイルは自動的に暗号化されます。(ハードウェア強制暗号・AES 256bit)

平文(暗号化されていない状態)のファイルは保存することはできません。

基本機能 – ウイルス対策機能

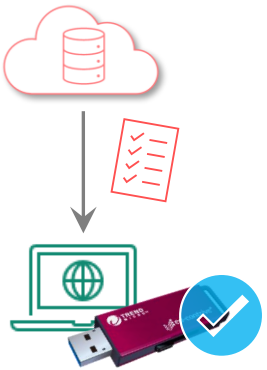
＊ TMUSB搭載モデルは「Traventy 3」のみになります。
＊ TMUSBは「2028年12月31日」にサポートを終了します。

ウイルス検知機能(TMUSB)

USBメモリには、Trend Micro社製ウイルス対策ソフトウェア「Trend Micro USB Security™(TMUSB)」が搭載されています。

TMUSBは、データ領域に書き込まれた不正ファイルを自動的に検知・隔離を行います。

▼インターネットアップデート



ON-LINE

OFF-LINE

パターンファイルアップデート

インターネットに接続された環境でTMUSBが起動すると、Trend Micro社のパターンファイル配信サーバに自動的に通信を行い、最新のパターンファイル情報を取得します。

オフライン環境でも、端末に対象のTrend Micro社製ウイルス対策ソフトウェアがインストールされている環境であれば、ローカルアップデートにも対応しています。

基本機能 – その他

読み取り専用機能

パスワード認証時にデータ領域を読み取り専用で開くか選択することができます。読み取り専用で起動することで、データ領域への書き込みは禁止されるため、不正なファイルコピーを防止することができます。

幅広い対応環境

Windows クライアントOS以外にも、Windows Server OSやmac OSでもご利用いただけます。

インストール不要で管理者権限 / 制限付きアカウントでもそのままご利用いただけます。

管理機能 – 管理用ソフトウェア

管理機能 – TRAVENTY 4 / Traventy 3 AdminPack

TRAVENTY 4 / Traventy 3 AdminPack は、USBメモリの管理を行うための3つアプリケーションツールがご使用いただける管理用ソフトウェアです。本ツールをご使用いただくことで、お客様の運用に合わせた各種機能の設定や、各種運用支援ツールをご利用いただけます。

TRAVENTY 4 / Traventy 3 AdminPack

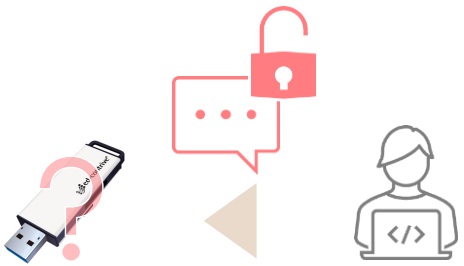
ポリシー設定ツール

USBメモリに設定する各種機能(ポリシー)を選択します。

選択したポリシーをUSBメモリに書き込む「初期化ツール」を作成します。

レスキューツール

パスワード忘れ / ロック時に、パスワードリセット / ロック解除用のレスキューコードを発行します。



※ ポリシー設定にて「レスキュー機能」を有効にした場合に使用します。

ポリシー配信ツール

ポリシー変更やバージョンアップ時に、ネットワーク経由で新しい初期化ツールをクライアントに配信します。

※ ポリシー設定にて「ポリシー配信」を有効にした場合に使用します。

※ 「TRAVENTY 4」には「TRAVENTY 4 AdminPack」、「Traventy 3」には「Traventy 3 AdminPack」が必要です。

※ 「TRAVENTY 4」と「Traventy 3」は互換性はありません。アップグレード、またはダウングレードは行えません。

ポリシー設定ツール

セキュリティポリシーの設定

ポリシー設定ツール は、お客様の運用・セキュリティ要件に合わせた各種機能を選択し、USBメモリにポリシーを設定するプログラムファイル「初期化ツール」を作成します。

本ツールで初期化されたUSBメモリは、管理者が設定したセキュリティポリシーが適用され、USBメモリの利用者のITリテラシーに依存せずに、セキュリティポリシーを遵守・徹底することができます。

● ポリシー設定ツール

● 設定ポリシー項目一覧

パスワード設定	パスワードポリシー	桁数 使用文字種、混在文字種 有効期限 再利用制限、変更制限 認証失敗制限
	パスワードレスキュー	レスキューツール マスターパスワード設定
ウイルス対策	TMUSB(※) オートラン対策機能	有効 / 無効 ライセンス自動更新設定
資産管理（※）	AssetFinderシリーズ連携	通信先設定 リモートワイプ時のロック 棚卸し設定
ポリシー配信	配信サーバ通信先の設定	
制限設定	使用可能期間	最大使用可能日数の設定
	動作制限	特定環境でのみ使用可 コピーガード機能設定
本体設定	メッセージカスタマイズ ドライブ設定 追加ファイル設定	

※「TMUSB(ウイルス検知機能)」は「Traventy 3」のみご利用いただけます。

※「TMUSB(ウイルス検知機能)」は「2028年12月31日」でサポートを終了します。

※ 資産管理機能のご利用には、「AssetFinderシリーズ」の構築、またはサービスのご契約が必要です。

初期化ツール作成 → ポリシー適用

パスワードレスキュー機能

レスキューツール

レスキューツールは、利用者がパスワード忘れた場合や、パスワードロックがかかった場合でも、スムーズにロック解除・パスワードリセットが行えるアプリケーションです。

マスターパスワード

利用者が設定するユーザパスワードとは別に、管理者用のマスターパスワードを設定することができます。

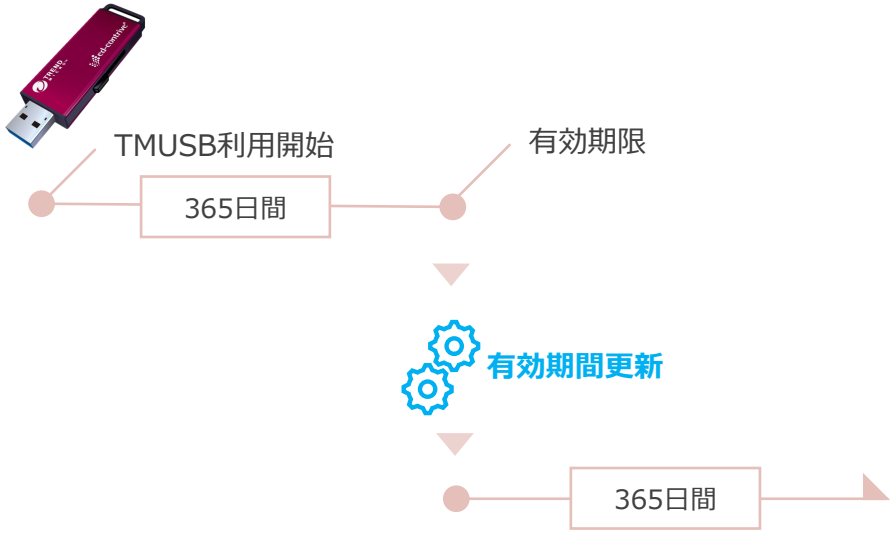
ウイルス対策機能

＊ TMUSB搭載モデルは「Traventy 3」のみになります。
＊ TMUSBは「2028年12月31日」にサポートを終了します。

TMUSB 有効 / 無効の設定

Traventy 3 に標準で搭載されている「TMUSB」の使用有無を設定することができます。

「使用しない」場合はウイルス検知機能は起動しません。また、アクティベーション前であれば、標準で保有しているライセンス有効期間も消費されません。



TMUSBの有効期間

Traventy 3 のTMUSBは「1年版」となり、利用開始時のアクティベーション実行から365日間ライセンス期間が有効になります。

次年度以降も継続して本機能を利用するには、有効期限を365日間延長する「TMUSB更新ライセンス」の購入と更新作業が必要です。(詳細は次ページを参照)

※ 更新を行わない場合は、TMUSBの機能は停止します。

※ ライセンス更新は、有効期限の30日前から行えます。
※ 有効期限前に更新した場合は、ライセンス期限から365日後まで有効期限が延長されます。
※ 有効期限超過後に更新した場合は、更新実施日時から365日後まで有効期限が延長されます。

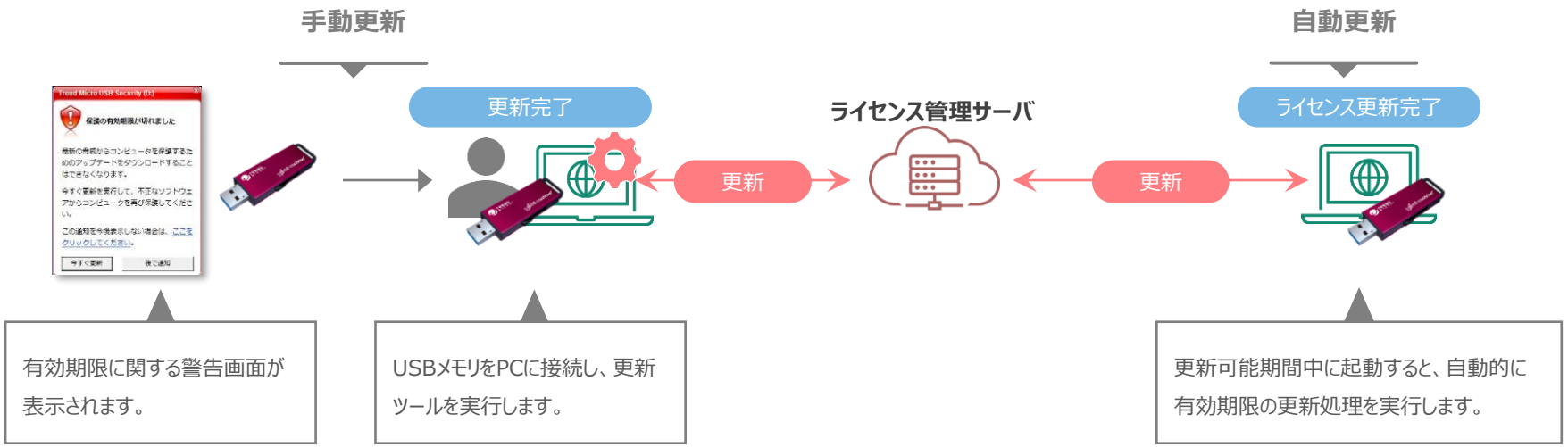
TMUSBライセンス更新

＊ TMUSB搭載モデルは「Traventy 3」のみになります。
＊ TMUSBは「2028年12月31日」にサポートを終了します。

年次更新の設定（自動更新 / 手動更新）

TMUSBの有効期間は、専用ツールで更新を行なう「**手動更新**」、または、USBメモリが更新時期に合わせて自動で更新を行なう「**自動更新**」をお選びいただけます。

自動更新は、更新期間中(有効期限の30日前以降)にインターネットに接続されている端末で起動すると、自動で更新処理を実行します。管理者・利用者側で手動で更新を行なう必要はなく、ライセンス更新忘れなどの心配はありません。



※ TMUSBライセンスの更新は、「TMUSB更新ライセンス」のご購入後発行される「ライセンスコード」が必要です。

※ 自動更新機能をご利用の場合には、「TMUSB更新ライセンス」を購入し、ポリシー設定を行なう際に発行された「ライセンスコード」をUSBメモリに設定する必要があります

※ ライセンスコードには、TMUSBの有効期限を延長する権利(ライセンス)が付与されます。USBメモリが更新を行なう毎に1ライセンスずつ消費されます。ライセンスを追加する場合は、必要数「TMUSB更新ライセンス」の購入が必要です。

その他のウイルス対策機能

＊ TMUSB搭載モデルは「Traventy 3」のみになります。
＊ TMUSBは「2028年12月31日」にサポートを終了します。

TMUSBライセンス更新実績の確認

TMUSBライセンス更新実績は「ライセンス更新ツール(管理用)」からログCSVの出力することが確認することができます。

memo	• USBメモリの「内部シリアル番号」はPCで認識される値になります。必要に応じて事前に値を管理する必要があります。(参考：シリアル抽出サービス)

更新ログ内容	更新実施日時
	USBメモリの内部シリアル番号
	更新後のライセンス有効期限
	USB個別ID(※)
	USBシリアル番号(※)

※ 「USB個別ID」「USBシリアル番号」は、「資産管理」ポリシーを有効に設定された場合に取得します。

Autorun.inf 強制削除機能

万が一オートラン系ウイルスに感染した場合でも、次回 USBメモリ起動時にデータ領域に存在する「autorun.inf（自動実行ファイル）」を強制的に削除します。自動実行ファイルを削除することで、オートラン系ウイルスの拡散を未然に防ぎます。

ポリシー配信機能

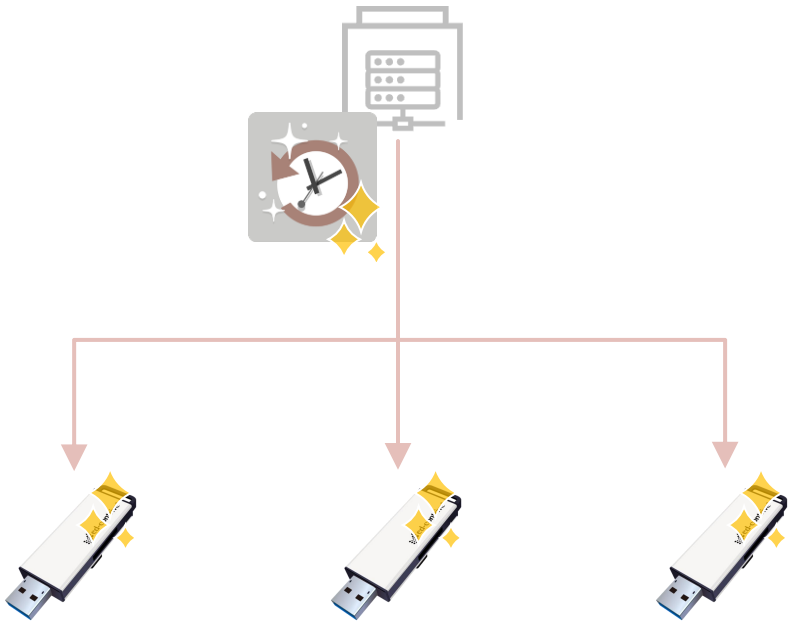
ポリシーの変更やバージョンアップ時には、ネットワーク経由ですべてのUSBメモリにアップデートを行えます。

USBメモリは起動時にポリシー配信ツールがインストールされている端末へアクセスし、ポリシー更新の有無を確認します。

更新されたポリシーがアップロードされていた場合のみ、配信ツールより初期化ツールをダウンロードし、USBメモリの初期化が実行されます。

Administrator

- **新しい初期化ツールをアップロード**
- **更新状況をチェック**



簡易初期化ツールを使って、データを損なわずに強制アップデート

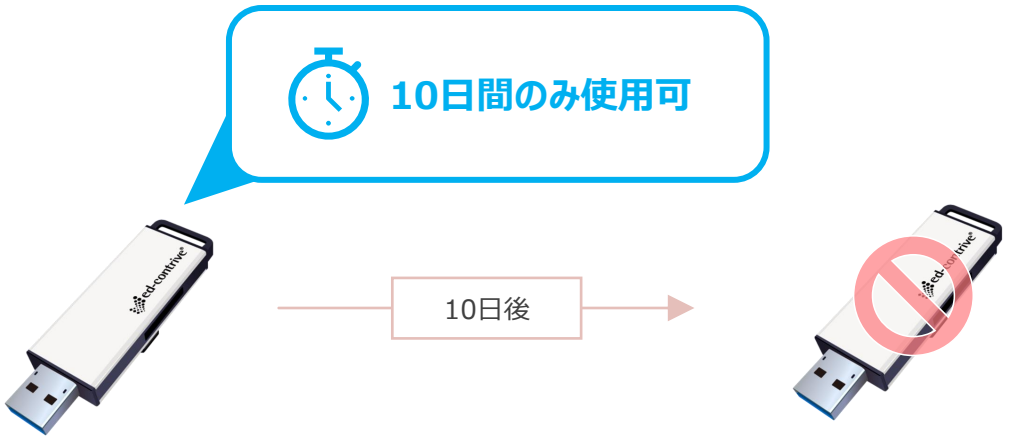
初期化ツールは、データ領域を除くUSBメモリのポリシー情報の更新やソフトウェアのバージョンアップを適用する「簡易初期化ツール」をご利用いただくことができます。

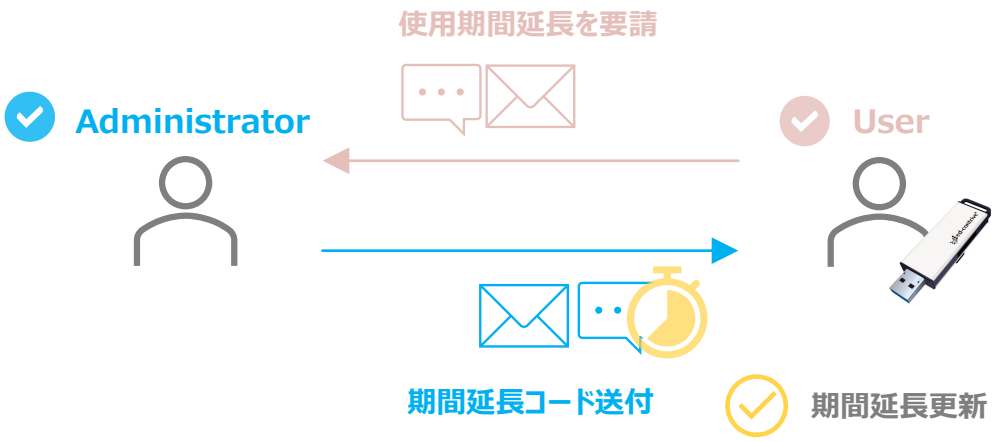
USBメモリ内に保存されているデータは初期化されないので、業務効率を下げることなくアップデートが行なえます。

動作制限設定 – 使用可能期間設定

使用可能期間の設定

USBメモリの使用可能な日数をポリシーで設定することが可能です。
設定された日数を超えると、USBメモリは自動的にロックがかかり使用継続することはできません





使用可能期間延長（レスキュー対応）

利用者から使用日数延長の申請があった際には、「レスキューツール」を使用することで、指定した日数使用期間を延長することが可能です。
出張期間が延長した場合など、遠隔地にいる利用者に対しても適切な期間延長対応が行えます。

動作制限設定

運用に合わせたUSBメモリの動作制限

USBメモリに対し、特定の動作制限を設定します。動作制限が設定されたUSBメモリは、特定または複数の条件指定を元に管理者が許可した環境でのみ制限が解除されます。

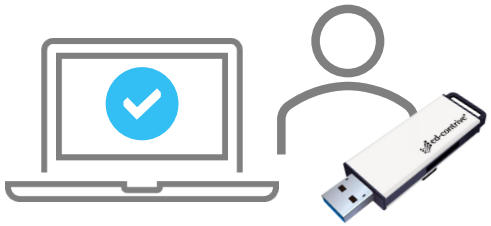
社内でも特定の端末でのみUSBメモリの利用を許可したい場合や、自宅や外部での利用を制限したい場合に有効です。

設定可能な制限項目

- **利用禁止** ▶ USBメモリの起動を禁止します。
- **コピー禁止** ▶ USBメモリからPCへのデータコピーを禁止します。
- **ログ送信禁止** ▶ 管理サーバへのログ送信(通信)を禁止します。

管理者が指定した環境で、動作制限を解除

動作制限の解除条件は、特定または複数の条件を指定することができます。



動作制限解除ツールのインストール

または

以下の条件の組み合わせ(and条件)

1. **IPアドレスによる判定**
2. **MACアドレスの一致による判定**
3. **PC内特定ファイル / フォルダの有無による判定**
4. **PCの所属するワークグループ名 / ドメイン名による判定**

動作制限設定 – コピーガード

自宅や外部環境時にデータを流出させないコピーガード機能

コピーガード機能を設定することで、社内環境ではUSBメモリへの読み書きが許可され、自宅や委託先などの環境ではUSBメモリ内でのみ閲覧・編集が行えます。USBメモリ内のデータは、ローカルPCへコピーすることはできません。特定のプロセスのみ起動を許可、ネットワークアクセスの禁止、印刷の禁止など、より高度な情報流出制御が実現できます。

- ドラッグ＆ドロップ
- プロセス起動(※)
- コピー＆ペースト
- ネットワークアクセス(※)
- 別名保存
- 印刷(※)

※ ポリシー設定時に制限の有効・無効を設定することができます。

※ 「プロセス起動」は指定したプロセスのみ許可、または自動許可設定の選択が可能です。

コピーガード環境動作確認済みソフトウェア / OS	
ソフトウェア	Microsoft Excel / Word / PowerPoint 2021 (64bit版 / 32bit版) Microsoft Excel / Word / PowerPoint 2019 (64bit版 / 32bit版) Microsoft Excel / Word / PowerPoint 2016 (64bit版 / 32bit版) Adobe Acrobat Reader、メモ帳
OS	Windows 11 / 10 (64bit / 32 bit) ※officeの64bit版およびWindows 11は、64bit OSのみサポート対象。

※ コピーガード機能のご利用には管理者権限アカウントが必要です。制限付きアカウントでご利用の場合はドライバのインストールが必要です。

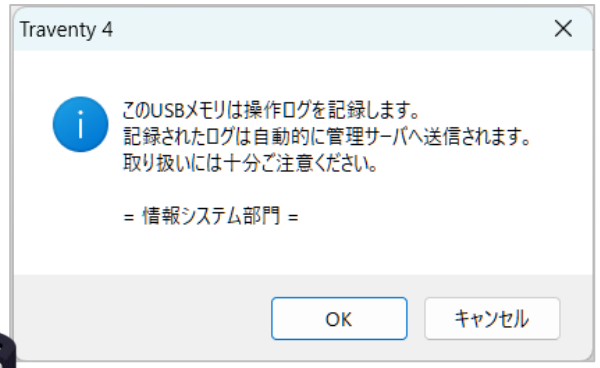
※ コピーガード機能を設定したUSBメモリは、macOSではご利用いただくことはできません。

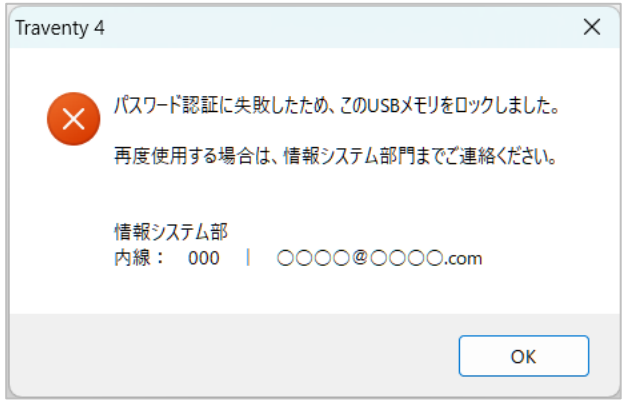
※ コピーガード環境では「SV機能(ファイル操作関連)」ログは取得できません。

本体設定 – メッセージカスタマイズ

起動メッセージ表示で、セキュリティ意識を向上

USBメモリ起動時に、任意のメッセージを表示することが可能です。注意喚起や、不正利用抑止のメッセージを表示させることで、セキュリティ意識の向上に繋がります。





運用に合わせたメッセージカスタマイズ機能

USBメモリ利用時に表示されるエラーメッセージの内容を、任意の内容に編集することが可能です。お客様の運用に沿った内容に編集することで、管理者・利用者ともに円滑なUSBメモリの運用をサポートします。

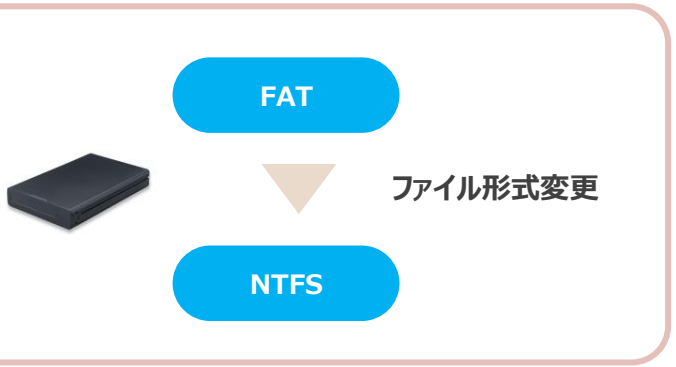
編集可能なエラーメッセージ	有効にするポリシー設定項目
認証失敗制限時のメッセージ	パスワード認証失敗制限
ロック状態で使用した際のメッセージ	パスワード認証失敗制限 → ロック
ユーザ無効化状態で使用した際のメッセージ	資産管理機能
棚卸し未完了によるロック時のメッセージ	資産管理機能 → 棚卸し機能
使用可能期間を超過した際のメッセージ	使用可能期間設定

本体設定 – 容量指定 / ボリュームラベル指定

データ保存領域の容量制限設定

USBメモリのデータ領域サイズを最小320MBに縮小することが可能です。利用者に大容量データの持ち出しを制限したい場合などに、有効な設定です

※ NTFSを設定したUSBメモリは、macOSではご利用できません。



ボリュームラベルの指定

PCに認識されるドライブ名を任意の名称に指定することが可能です。セキュリティUSBメモリを初めて使用する利用者にも直感で分かりやすい名称に指定することで、円滑な運用をサポートします。

管理ドライブ

- 書き込み禁止領域のため、利用者は追加したファイルの削除は不可
- パスワード認証前にアクセスが可能

データドライブ

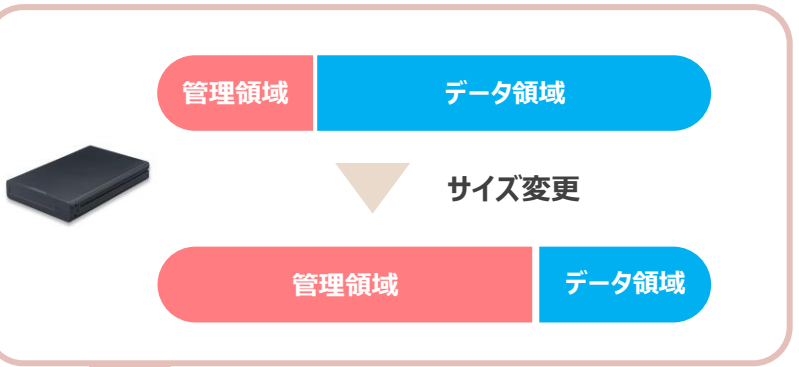
- 利用者による追加ファイルの削除が可能
- パスワード認証後にアクセスが可能

ドライブ名を変更することで、利用者は直感的な操作が行なえます。

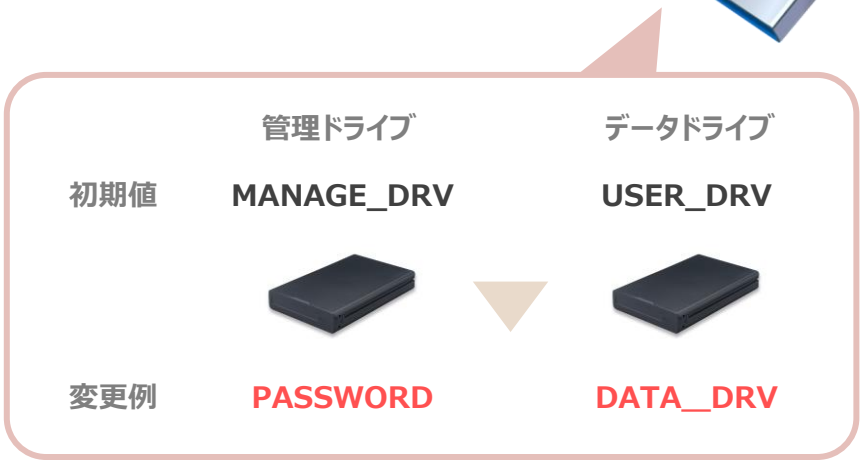
本体設定 – ファイルシステム設定 / 追加ファイル設定

大容量一括コピーに対応！ファイルシステムの設定

USBメモリのデータ領域のファイルシステムを「FAT形式」から「NTFS形式」に変更することが可能です。「NTFS」を選択することで、大容量データも一括コピーが可能になります。



書き込み禁止の管理領域を大きくすることで、保存可能なデータ容量を指定値に制限することができます。



追加ファイルの設定

USBメモリの管理ドライブ、またはデータ領域にあらかじめ任意のファイルを追加することが可能です。操作マニュアルや、ヘルプデスクの連絡先などを追加し、円滑な運用をサポートします。

ドライブ名を変更することで、利用者は直感的な操作が行なえます。

資産管理機能 – AssetFinder シリーズ

資産管理機能 – クラウドサービス / オンプレミス

「資産管理機能」を有効に設定することで、「AssetFinder シリーズ」と連携した資産管理機能をご利用いただけます。本機能をご利用いただくことで、USBメモリは管理サーバに通信を行いログ送信を行い、管理者は利用状況を適切に把握することが可能になります。

USBメモリの運用管理に必要な「台帳管理」「棚卸し管理」機能や、紛失時の「リモートワイプ」など、万全なセキュリティ管理を実現します。

01

クラウド版ログ管理サービス

AssetFinder Cloud

02

クラウド版
リモートワイプサービス

AssetFinder
Remote Wipe Service

03

オンプレミス版

AssetFinder
アセットファインダー

SV機能利用ライセンス

※ 資産管理機能のご利用には、AssetFinder シリーズの構築、または、サービスご契約が必要です。

※ 同じUSBメモリに対して各サービス、製品の併用はできません。

※ オンプレミス版「AssetFinder」でファイル操作関連ログを取得する場合は、「SV機能利用ライセンス」のご契約、または、AssetFinder Cloud のサービスご契約が必要です。

AssetFinder シリーズ 比較

AssetFinder シリーズには、弊社クラウドサービスでご利用いただける「クラウド版」と、お客様にてサーバ構築後ご利用いただける「オンプレミス版」がございます。

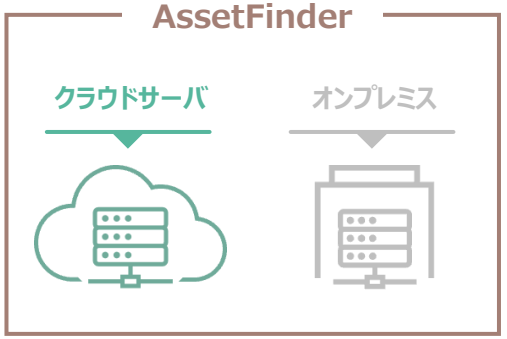
	AssetFinder Cloud	AssetFinder Remote Wipe Service	AssetFinder
サービス形態	クラウド（SaaS）	クラウド（SaaS）	オンプレミス
サーバ・インフラ調達	○	○	△
サーバ運用 / メンテナンス	○	○	△
利用ログ管理	○	–	○ ※1
台帳管理	○	○	○
棚卸し管理	○	–	○
リモートワイプ	○	○	△ ※2
アカウント管理	○	–	–
ログ削除機能	○	–	△ ※3
ログアーカイブ機能	○	–	–
通知機能	○	○	–
ダッシュボード	○	–	–

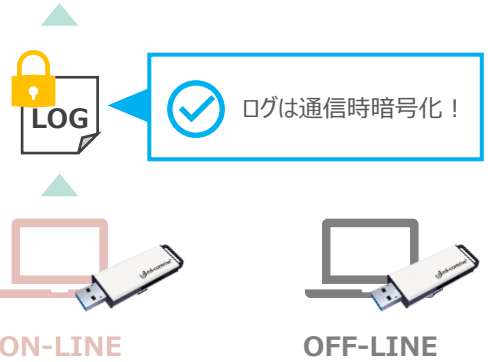
※ オンプレミス版は、お客様が構築されたサーバでご利用いただきます。
※ 1）オンプレミス版で「ファイル操作関連ログ」を取得する場合は、別売のオプションライセンス「SV機能利用ライセンス」の契約が必要です。
※ 2）オンプレミス版で「リモートワイプ機能」を行うには、サーバをインターネットと接続できる環境（DMZ）に構築する必要があります。
※ 3）オンプレミス版のログ削除は、手動削除のみになります。（クラウド版は自動・手動の両機能をご利用いただけます。）

利用ログ管理

社内・社外を問わず、USBメモリのすべての動きを記録

USBメモリのログはネットワークを経由し、すべて管理サーバに収集されます。
オフライン環境の利用ログはUSBメモリに記録され、次回管理サーバに通信可能な環境で起動した際に自動送信されます。





- **取得ログ一覧**

クライアント情報			利用者・USBメモリ情報
操作日時			個人識別情報
グローバルIPアドレス			USB個別ID
ローカルIPアドレス(※)			USBシリアルNo.
MACアドレス(※)			
コンピュータ名			
ログインユーザ名			
操作内容			
認証プログラムの実行	アクティベーション完了	ファイルコピー	フォルダコピー
パスワード認証成功	パターンファイル更新	ファイル作成	フォルダ作成
パスワード認証失敗	スキャンの実施	ファイル移動	フォルダ移動
無効化設定によるロック	ウイルス検知	ファイル削除	フォルダ削除
無効化設定による初期化	Autorun.inf削除	ファイル名変更	フォルダ名変更
棚卸期限内未使用によるロック		CD/DVDへの書き込み	

- オフライン時のログはUSBメモリ内に蓄積され、次回サーバ接続時に自動送信されます。
- USBメモリは約 **10,000回** 分の操作記録を蓄積します。

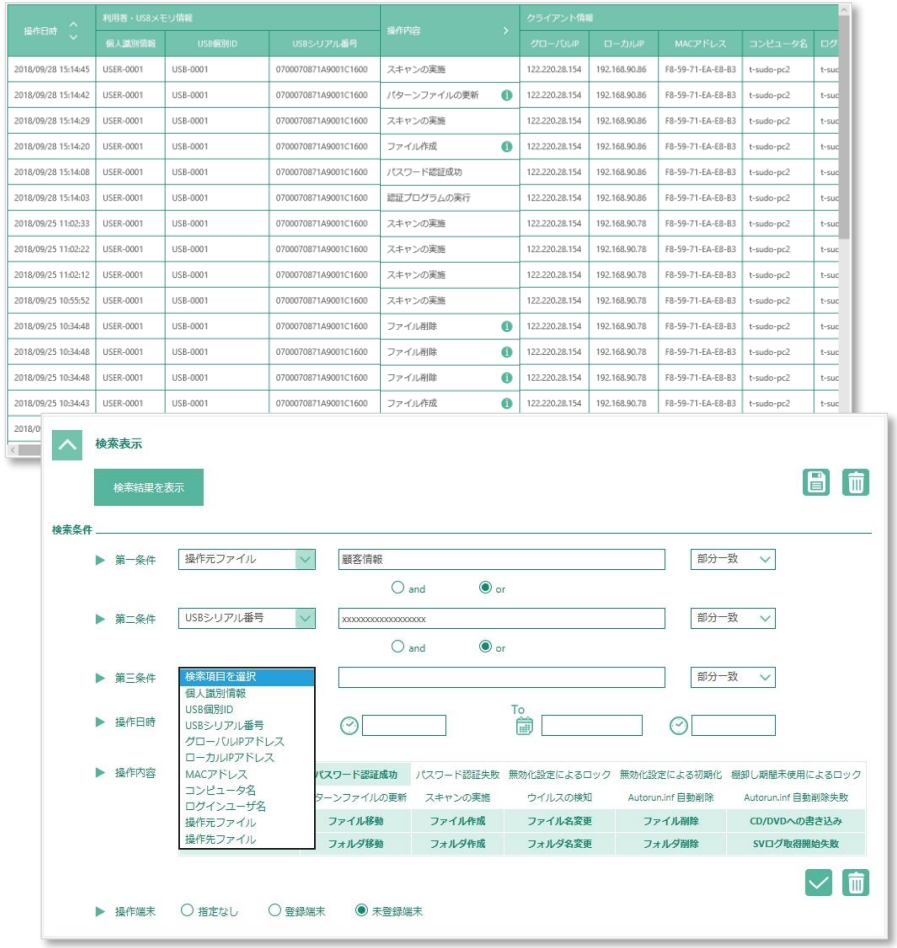
※ オフライン環境(クラウドサーバ非接続環境)時は、ローカルIPアドレスとMACアドレスは取得できません。
※ の「TMUSB」関連ログは「Traventy 3」でのみ取得できます。
※ USBメモリの「動作制限設定」→「コピーガード」をご利用の場合、コピーガード環境では、 のログは取得できません。
※ オンプレミス版「AssetFinder」で のログを取得する場合は、別売のオプションライセンス「SV機能利用ライセンス」の契約が必要です。
※ macOS環境利用時のログは取得できません。
※ AssetFinder Remote Wipe Service ではログ管理機能はご利用いただけません。

利用ログ管理

条件指定で自由にログを検索

管理サーバに記録されたログは、管理画面から確認することができます。

また、検索条件を使用することで「特定の利用者」「特定の期間」「特定の操作」など複数の条件下のログを閲覧・CSVファイル出力することが可能です。



※ 画面は「AssetFinder Cloud」の管理画面になります。

- **検索項目**

条件検索	最大3つの条件を「and」または「or」条件で検索できます。 各情報は「部分一致」または「完全一致」を選択できます。 <条件項目> 個人識別情報　USB個別ID　USBシリアルNo.　MACアドレス ローカルIP　グローバルIP　コンピュータ名　ログインユーザ名 操作元ファイル　操作先ファイル
操作日時	USBメモリが各操作を実行した日時、または期間を選択することができます。
操作内容	検索するログの種類を選択することができます。
操作端末(※)	「登録端末(社内利用)」または「未登録端末(社外利用)」で操作されたログを選択することができます。

※ 操作端末の選択は、事前に管理サーバに社内端末情報の登録をする必要があります。

台帳管理機能

USBメモリと利用者を台帳管理

使用するUSBメモリ及び利用者の登録を行います。**「どのグループ」**の**「誰」**が**「どのUSBメモリ」**を使用しているか台帳情報がデータベース上で管理することが可能です。登録された利用者は、各項目、未使用期間などを指定し検索、出力が行えます。

登録・編集・削除方法は「個別」またはCSVによる「一括」が可能です。

※ 画面は「AssetFinder Cloud」の管理画面になります。

- **利用者情報登録項目**

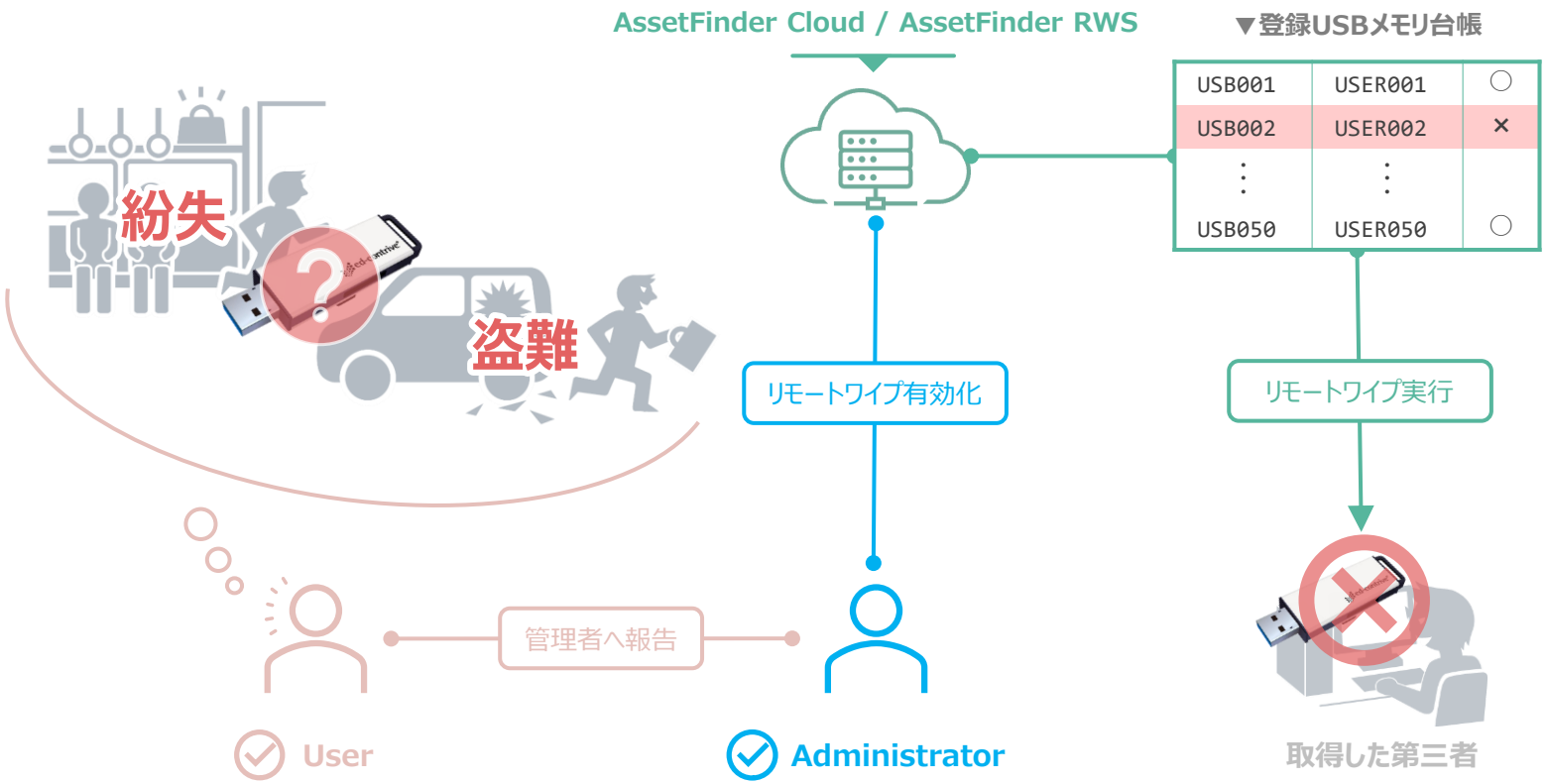
グループ情報(3カテゴリ)	登録されているグループ情報から、利用者が所属するグループを選択します。
USB個別ID	USBメモリを特定する任意の値を入力します。 (例; 資産管理番号、など)
個人識別情報	利用者を特定する任意の値を入力します。 (例; 利用者氏名、社員No.、など)
有効性	USBメモリ利用及びファイル操作ログ取得(SV機能)の「有効」「無効」を選択します。
メモ(※)	任意の情報を入力します。 (例; 貸出用　期限○○月xx日、など)

※ AssetFinder(オンプレミス版) では「メモ」はご利用いただけません。

※ AssetFinder Remote Wipe Serviceでは「グループ情報」はご利用いただけません。

紛失・盗難時のリモートワイプ機能

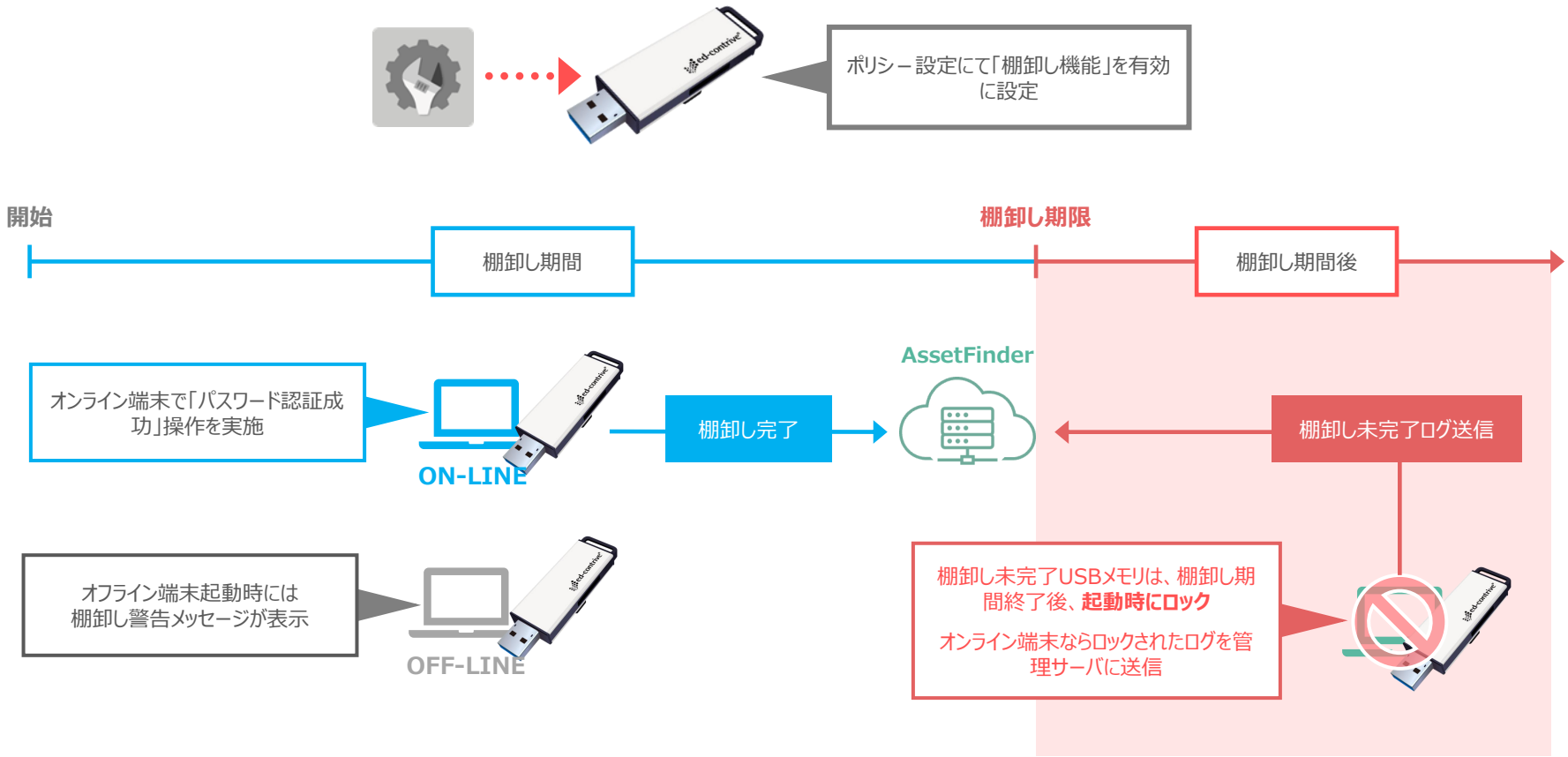
万が一USBメモリの紛失・盗難が発覚した場合には、管理サーバに登録されている対象USBメモリの「無効化設定」を行うことができます。無効化されたUSBメモリがオンライン端末で起動したタイミングで、USBメモリ内のデータは強制削除されロックがかかり、不正なデータアクセス・流出を防止します。リモートワイプが実行されたログは管理サーバに送信されるので、事故発生後も状況を把握することができます。



※ サーバと通信が可能なWindows 環境でのみ、リモートワイプ機能が実施されます。

棚卸し管理

指定された棚卸し期間中に、管理サーバ環境下で「パスワード認証成功」操作を行うことで、正規利用者の使用実績として棚卸しが完了されます。棚卸し期間中にオフライン端末でUSBメモリを操作した際には、指定した「棚卸し警告メッセージ」を表示し、利用者に棚卸しを促します。棚卸し期間中に使用が確認できなかったUSBメモリは「棚卸し未完了」として自動的にロックがかかり、使用が制限されます。



※ AssetFinder Remote Wipe Serviceでは「棚卸し機能」はご利用いただけません。

通知機能

選択したログを管理サーバが記録すると、あらかじめ指定されたメールアドレスへレポートを通知します。

▼ 通知先アドレス登録画面

▼ 通知対象ログ

1	パスワード認証失敗
2	ウイルスの検知（※）
3	Autorun.inf自動削除
4	無効化設定によるロック
5	無効化設定による初期化
6	棚卸し期間未使用によるロック

※ 「ウイルス検知」の通知は、「Traventy 3」のみになります。

※ AssetFinder Remote Wipe Serviceでは「4」「5」のみ通知します。

※ AssetFinder(オンプレミス版)では通知機能はご利用いただけません。

▼ 通知レポートイメージ

差出人　AssetFinder RWS<no-reply@AssetFinderCloud.com>

件名　リモートワイプが実施されました【AssetFinder RWS レポート通知】　2022/04/01 23:56:10

ご担当者　様

ご契約いただいている「AssetFinder Remote Wipe Service」の管理サーバにて、
お客様が「無効化」に設定したUSBメモリから通信を確認いたしました。

当該USBメモリに対し、以下の処理を実行いたしましたので、ご報告させていただきます。

【USBメモリ情報】
USB個別ID　USB-0001
個人識別情報　USER-0001
USBシリアルNO　0700070**********

【実施されたアクション】
当該USBメモリに対し「初期化」を実施しました。

【実施日時】
2022/04/01 20:33:15

【実施された端末情報】
コンピュータ名
PC-000-0001
ログインユーザ名
****
グローバルIPアドレス
201.***.***.***
ローカルIPアドレス
192.***.***.***
MACアドレス
00-00-00-00-00-00

導入支援サービス

納品後すぐにご利用いただくための、各種導入支援サービスをご用意しています。

発注

▼

ポリシーの策定

▼

ポリシー設定

▼

納品

▼

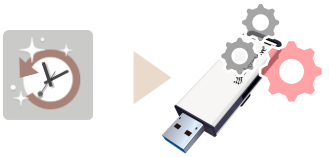
利用開始

4,000 社以上の導入実績から、お客様の運用に最適なポリシーをご提案

お客様のUSBメモリの利用方法や運用に関するご要件をヒアリングさせていただき、最適な設定ポリシーをご提案します。

ポリシー設定代行

USBメモリ1本1本に、お客様のセキュリティポリシーを設定し出荷します。納品されるUSBメモリにお客様で設定していただく必要はありません。
50本以上のご注文の場合は、本作業は無償で対応いたします。



管理番号シール作成・貼付サービス

お客様指定の値を印字した機器管理番号シールを作成し、USBメモリ本体に貼付します。

シリアル抽出サービス

納品するUSBメモリのシリアル番号を抽出しリスト化したExcelファイルを納品します。資産管理ソフトウェア等にインポートすることで、シリアルのホワイトリスト登録が簡単に行えます。

プロダクトストリングス書き換えサービス

USBメモリのデバイス情報の一部を、お客様指定の値にカスタマイズします。デバイス制御で判別する値としてお客様独自の値で登録することで、他のTRAVENTY シリーズ USBメモリと区別することができます。

クラウドサービス導入支援

弊社クラウドサービス関連の導入支援サービスをご用意しています。(詳細は次ページ)

クラウドサービス契約ユーザ様向け導入支援サービス

AssetFinder クラウドシリーズをご契約のお客様には、通常の導入支援サービスに加え、ご利用のクラウドサービスに関連した導入支援を承ります。

01 クラウドサービス構築支援

ご利用のクラウドサービスの、初期設定作業を代行します。
お客様の運用に合わせて各機能の設定値を確認の上、ご利用開始前にクラウドサービスの環境を整えた状態でご提供いたします。

02 USBメモリの初期登録

クラウドサービスを利用するUSBメモリを、工場出荷前にクラウドサーバに登録し出荷します。
USBメモリは、クラウドサービスが有効な状態で納品されますので、すぐに配布・運用開始が可能です。

利用開始までのすべての準備を整えた状態で、製品・サービスをご提供いたします。

価格情報

TRAVENTY 4 - ウイルス検知機能 非搭載モデル（USBメモリ本体 / 管理用ソフトウェア）

製品名	型番	JANコード	参考価格 – 税別
TRAVENTY 4 / 4GB	TRA04G0V4	4534798904418	**15,000 円**
TRAVENTY 4 / 8GB	TRA08G0V4	4534798904425	**20,500 円**
TRAVENTY 4 / 16GB	TRA16G0V4	4534798904432	**31,500 円**
TRAVENTY 4 / 32GB	TRA32G0V4	4534798904449	**42,500 円**
TRAVENTY 4 / 64GB	TRA64G0V4	4534798904456	**62,300 円**
TRAVENTY 4 AdminPack	TRAADMPV4	4534798904463	**44,000 円**

※ USBメモリ本体には、購入から1年間のハードウェア保証が含まれています。
※ 「資産管理機能」のご利用には、「AssetFinder クラウドシリーズ」のご契約、もしくはオンプレミス版「AssetFinder」の構築が必要です。

Traventy 3 - ウイルス検知機能 搭載モデル（USBメモリ本体 / 管理用ソフトウェア / 更新ライセンス）

製品名	型番	JANコード	参考価格 – 税別
Traventy 3 / 4GB	TRA04GVV3	4534798901226	**16,500 円**
Traventy 3 / 8GB	TRA08GVV3	4534798901233	**22,000 円**
Traventy 3 / 16GB	TRA16GVV3	4534798901240	**33,000 円**
Traventy 3 / 32GB	TRA32GVV3	4534798901257	**44,000 円**
Traventy 3 / 64GB	TRA64GVV3	4534798901271	**63,800 円**
Traventy 3 AdminPack	TRAADMTV3	4534798901264	**44,000 円**
TMUSB更新ライセンス	SDTLC01V1	-	**1,080 円**

※ USBメモリ本体には、購入から1年間のハードウェア保証が含まれています。
※ USBメモリ本体には、TMUSBの初年度ライセンス費用が含まれています。次年度以降も継続して本機能を使用する場合は「TMUSB更新ライセンス」の購入・更新が必要です。
※ **TMUSBは「2028年12月31日」をもってサポートを終了します。**
※ 「資産管理機能」のご利用には、「AssetFinder クラウドシリーズ」のご契約、もしくはオンプレミス版「AssetFinder」の構築が必要です。

価格情報

AssetFinder Cloud - クラウドサービス

製品名	型番	参考価格 – 税別
AssetFinder Cloud 月額サービス利用料 -199本迄-(1式)	AFCMSC199	**120,000 円**
AssetFinder Cloud 月額サービス利用料 -200本以上-(USBメモリ1本あたり)	AFCMSC200	**500 円**
AssetFinder Cloud 初期費用	AFCINI001	**200,000 円**
AssetFinder Cloud 導入支援費用	AFCSVST01	**50,000 円**

※ 本サービス対象製品は、「TRAVENTY シリーズ」のUSBメモリ本体および管理用ソフトウェア(AdminPack)です。
※ 新規および更新の契約は「12ヶ月以上」からになります。また、契約期間中の追加契約は、契約期限までの月額サービス利用料が必要です。
※ ご利用開始月の前月までに、本サービスのご契約の完了が必要です。ご契約は原則まとめて一括の契約とさせていただきます。
※ USBメモリの本数が199本以下の場合は、「月額サービス利用料 -199本迄(AFCMSC199)」一式×利用月数の契約になります。
※ USBメモリの本数が200本以上の場合は、「月額サービス利用料 -200本以上(AFCMSC200)」×サービス利用USBメモリ本数の契約になります。
※ 初回契約時は、「初期費用」一式が発生します。「導入支援費用」はオプションサービスになります。必要に応じてご依頼ください。

AssetFinder Remote Wipe Service - クラウドサービス

製品名	型番	参考価格 – 税別
AssetFinder RWS 月額サービス利用料	ARWS-MF01	**300 円**
AssetFinder RWS 初期費用	ARWS-IN01	**50,000 円**
AssetFinder RWS 導入支援費用	ARWS-SP01	**50,000 円**

※ 本サービス対象製品は、「TRAVENTY シリーズ」のUSBメモリ本体および管理用ソフトウェア(AdminPack)です。
※ 新規および更新の契約は「12ヶ月以上」からになります。また、契約期間中の追加契約は、契約期限までの月額サービス利用料が必要です。
※ ご利用開始月の前月までに、本サービスのご契約の完了が必要です。ご契約は原則まとめて一括の契約とさせていただきます。
※ 初回契約時は、「初期費用」一式が発生します。「導入支援費用」はオプションサービスになります。必要に応じてご依頼ください。

AssetFinder – オンプレミス版

製品名	型番	参考価格 – 税別
AssetFinder	-	**無料ダウンロード提供**
SV機能月額利用ライセンス	TRASVF1M1	**220 円**

※ 本サービス対象製品は、「TRAVENTY シリーズ」のUSBメモリ本体および管理用ソフトウェア(AdminPack)です。
※ 新規および更新の契約は「6ヶ月以上」からになります。また、契約期間中の追加契約は、契約期限までの月額ライセンス費用が必要です。
※ ご利用開始月の前月までに、本サービスのご契約の完了が必要です。ご契約は原則まとめて一括の契約とさせていただきます。

動作環境

TRAVENTY 4 / Traventy 3（USBメモリ本体）

OS	• Windows 11 (21H2/22H2/23H2) Home / Pro / Pro Education / Pro for WorkStation / Education / Enterprise (64bit) • Windows 10 (21H2/22H2) Home / Pro / Education / Enterprise (64bit / 32bit) • Windows Server 2022 Essetntials / Standard / Datacenter (64bit) • Windows Server 2019 Essentials / Standard / Datacenter (64bit) • Windows Server 2016 Essentials / Standard / Datacenter (64bit) ※ いずれのOS も日本語版/ 英語版に対応(コピーガード環境での利用は日本語版のみ) ※ Windows Server OS にてコピーガード環境は利用できません。 ※ コピーガード環境では、「SV機能(ファイル操作関連)」ログは取得できません。 • macOS 14 / 13 / 12 ※ いずれのOSも日本語版 / 英語版に対応 ※ 動作制限ポリシーにて「コピーガード」を選択した場合、またはファイルシステムの選択にて「NTFS」を選択した場合は、macOSではご利用いただけません。 ※「AssetFinder シリーズ」は、macOSには対応していません。 ※ Traventy 3に搭載れているTMUSB(ウイルス検知機能)は、macOSには対応していません。

CPU / メモリ	OSの最低動作要件を満たすこと
USBポート	USB 3.2 Gen1×1 USB 2.0
暗号化方式	AES 256bit
その他	RoHS指令対応

TRAVENTY 4 AdminPack / Traventy 3 AdminPack（管理用ソフトウェア）

OS	• Windows 11 (21H2/22H2/23H2) Home / Pro / Pro Education / Pro for WorkStation / Education / Enterprise (64bit) • Windows 10 (21H2/22H2) Home / Pro / Education / Enterprise (64bit / 32bit) • Windows Server 2022 Essetntials / Standard / Datacenter (64bit) • Windows Server 2019 Essentials / Standard / Datacenter (64bit) • Windows Server 2016 Essentials / Standard / Datacenter (64bit) ※ いずれのOS も日本語版/ 英語版に対応(コピーガード環境での利用は日本語版のみ) ※ Windows Server OS は「ポリシー配信ツール」のみ対応

CPU / メモリ	OSの最低動作要件を満たすこと
その他	• ポリシー配信ツールはインストール時に管理者権限が必要です。 • ポリシー配信ツールは標準で80/TCPを利用します。必要に応じてポリシー配信ツールの利用ポートの変更を行って下さい。ポリシー配信ツールの使用ポートと同じポートを使用するソフトェアを同時にご利用いただくことはできません。

動作環境

AssetFinder Cloud / AssetFinder Remote Wipe Service（クラウドサービス）

推奨ブラウザ	Microsoft Edge（最新版） Google Chrome（最新版）	通信ポート	• ログ通信：HTTP80/TCP(ログは「Camellia暗号」による暗号化が施されています。 • 管理ブラウザ：HTTPS443/TCP
通信制限オプション	クラウドサーバの各ポートに対し、指定IPアドレスによる通信許可設定が行えます。（※AssetFinder Cloudのみ）		
その他	• ログ取得環境およびUSBメモリの通信環境は、USBメモリに設定されたポリシーの内容に準じます。 • 「コピーガード環境」ではSVログ(ファイル操作ログ)は取得できません。(※AssetFinder Cloud のみ) • 日本語のみ対応しています。		

AssetFinder（資産管理サーバソフトウェア – オンプレミス）

OS	• Windows Server 2022 Essetntials / Standard / Datacenter (64bit) • Windows Server 2019 Essentials / Standard / Datacenter (64bit) • Windows Server 2016 Essentials / Standard / Datacenter (64bit) ※ いずれのOS も日本語に対応	HDD容量	200MB 以上 * 上記はインストールに必要なディスク容量になります。 * ログ保存には上記以外のディスク容量が必要です。目安としては、1操作ログあたり1～2KByteの容量が必要です。
ミドルウェア	Apache 2.x、PHP7.x、MySQL5.x ※AssetFinderインストール時に同時にインストールされます。	ネットワークアダプタ	必須 (1つ以上の固定IPアドレスが必要)
プロセッサ	1GHz以上のIntel Xeon / Pentium / Celeron ファミリ、AMD Athlon / Opteron ファミリ、または互換性のあるプロセッサ ※但しOSのシステム要件を満たすこと	構成	1台構成(WEB/DB)、または2台構成(WEB1台＋DB1台)の選択が可能
メモリ	512MB以上 ※但しOSのシステム要件を満たすこと	対応ブラウザ	Microsoft Edge（最新版） Google Chrome（最新版）
その他	• 「バックアップ設定ツール」「ログ削除ツール」の操作は管理者権限が必要です。 • Microsoft Visual C++ 2013 Runtime(x86) がインストールされていること。 • Microsoft Visual C++ 2017 Runtime(x86) がインストールされていること。 • .NET Framework 3.5 がインストールされていること。 • 通信ポートは、80/TCP、443/TCP、3306/TCPを使用します。必要に応じてF/W等の設定を行ってください。		

会社情報

会社名	イーディーコントライブ株式会社
設立	2006年10月2日
資本金	9,900万円（2021月6月 現在）
従業員数	20名（2022年12月 現在）
役員一覧	代表取締役　尾上　昌隆 取締役　尾上　宜隆 非常勤取締役　江島　巌
URL	https://www.ed-contrive.co.jp

アクセス

■東京本社■
〒102-0073
東京都千代田区九段北4-1-3
飛栄九段北ビル6F
TEL. 03-6238-3501(代)

JR中央・総武線「市ヶ谷」駅　徒歩6分

都営地下鉄新宿線、東京メトロ有楽町線・南北線「市ヶ谷」駅A4出口
徒歩3分

■大阪支社■
〒532-0011
大阪府大阪市淀川区西中島3-23-16
セントランドビル6F
TEL. 06-6838-3163(代)

地下鉄御堂筋線「西中島南方」駅
徒歩1分

阪急電鉄・京都線「南方駅」 徒歩3分

JR「新大阪」駅　徒歩7分

著作権・お問い合わせ先

■ 製品に関するお問い合わせ先

イーディーコントライブ株式会社　リスクマネジメント事業部

■東京本社■
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3　飛栄九段北ビル6F
TEL：03-6238-3501（代）内線：3 ※ガイダンスの途中でもお繋ぎできます。

■大阪支社■
〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-23-16　セントランドビル6F
TEL： 06-6838-3168

Email　sd-brand@ed-contrive.co.jp
WEB　 https://www.safety-disclosure.jp